

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年12月3日 (2015.12.3)

【公表番号】特表2015-500002(P2015-500002A)

【公表日】平成27年1月5日 (2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2014-535821(P2014-535821)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/52 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 14/755 (2006.01)

C 0 7 K 1/18 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 16/46 Z N A

C 0 7 K 16/00

C 0 7 K 14/52

C 0 7 K 14/705

C 0 7 K 14/755

C 0 7 K 1/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

A 6 1 K 39/395 N

C 0 7 K 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月9日 (2015.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヘテロ二量体タンパク質を含む組成物であって、前記ヘテロ二量体タンパク質が：

a) 第 1 のヒト Ig G 1 重鎖定常ドメインを含む第 1 のモノマーであって、前記第 1 のヒト Ig G 1 重鎖定常ドメインが野生型のヒト Ig G 1 重鎖定常ドメインと比較してアミノ酸修飾を含む変異体ヒト Ig G 1 重鎖定常ドメインであり、前記アミノ酸修飾が、K a

b a t に記載の E U インデックスによる N 2 0 3 D / K 2 7 4 Q / R 3 5 5 Q / Q 4 1 9 E / K 4 4 7 d e l を含む、第 1 のモノマーと；

b) 第 2 のヒト I g G 1 重鎖定常ドメインを含む第 2 のモノマーと；
を含む、組成物。

【請求項 2】

前記第 2 のヒト I g G 1 重鎖定常ドメインが、野生型の第 2 のヒト I g G 1 重鎖定常ドメインである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記第 1 の重鎖定常ドメインの各々が、C H ₁ - ヒンジ - C H ₂ - C H ₃ ドメインを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記第 1 の重鎖定常ドメインの各々が、C H ₂ - C H ₃ ドメインを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のヘテロ二量体ポリペプチドをコードする核酸。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の核酸を含む宿主細胞。

【請求項 7】

a) 請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物を提供することと、
b) 前記組成物をイオン交換カラムに負荷することと、
c) ヘテロ二量体の画分を収集することと、を含む、ヘテロ二量体タンパク質を精製する方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物を含む、医薬組成物。